

まちのわだい

リアル宝探しイベント in 福島コードF・5 三春エリアの参加者1万人達成！

今年の3月から9月下旬にかけて、県内各地で行われた「リアル宝探しイベント in 福島コードF・5」で、三春町には1万人を超える参加者が訪れました。

週末の休日や祝日になると、たくさん親子づれなどの参加者が、三春町エリアの宝探しの地図を片手に街なかの神社や仏閣等で宝探しの探索を楽しんでいました。

9月6日には三春エリアの参加者が1万人を超え、1万人目となった早田浩二さん、翔馬さん親子（福島市）、早田洋平さん（相馬市）には、1万人達成記念として、町マスコットキャラクター「こまりん」のクリアファイルや文房具などのオリジナルグッズが贈られました。

※「リアル宝探しイベント in 福島コードF・5」は、県内30のエリアで開催されたもので、各エリアに隠された宝箱を謎めいた宝の地図（参加冊子）を手がかりに探し出す体験型の宝探しゲームです。



1万人目となった早田浩二さん（左）
翔馬さん（中央）、早田洋平さん（右）

各地区で敬老会開催が 開催されました

9月19日の中妻地区を始めとして、20日は沢石地区・岩江地区・中郷地区、21日は三春地区・要田地区、27日は御木沢地区で、その他敬老園などでも敬老会が開催され、約2,900名の皆さんが招待されました。

敬老会では、町から80歳以上の方へ祝金が、77歳、88歳、89歳以上の方へは祝品が贈られました。

各地区とも式典後のアトラクションでは、保育所、幼稚園児の遊戯や地区民による歌や踊りが披露され、招待された皆さんは楽しい時間を過ごしていました。



中妻地区敬老会のようす

宝くじの助成で LED防犯灯を整備しました

荒町字委員会（吉田清区長）では、このほど宝くじの助成金（コミュニティ助成事業）を受けてLED防犯灯の整備をしました。地区では、今後さらに安全安心な地域づくりを進めていくこととなります。

コミュニティ助成事業は、（財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源に、コミュニティ活動に助成を行い、健全な発展を図るとともに宝くじの普及・広報を行っているものです。宝くじは広く社会に役立てられています。



整備をしたLED防犯灯